

夜明けの来ない夜は無いさ  
あなたがポツリ言う  
燈台の立つ岬で  
暗い海を見ていた

悩んだ日もある 哀しみに  
くじけそうな時も  
あなたがそこにいたから  
生きて来られた

朝陽が水平線から  
光の矢を放ち  
二人を包んでゆく  
瑠璃色の地球

泣き顔が微笑みに変わる  
瞬間の涙を  
世界中の人たちに  
そっとわけてあげたい

争って傷つけあったり  
人は弱いものね  
だけど愛する力も  
きっとあるはず

ガラスの海の向こうには  
広がりゆく銀河  
地球という名の船の  
誰もが旅人

ひとつしかない  
私たちの星を守りたい

朝陽が水平線から  
光の矢を放ち  
二人を包んでゆく  
瑠璃色の地球  
瑠璃色の地球